

平成26年度事業者主導型リスクコミュニケーション事業実施結果 【 NEC トーキン株式会社 】

宮城県環境生活部環境対策課

1 はじめに

化学物質は、私たちが日常生活をおくる上で必要不可欠な存在ですが、一方で、環境中の化学物質が人や動植物に悪影響を及ぼすレベルにならないよう適切な管理や取扱いを行われなければなりません。

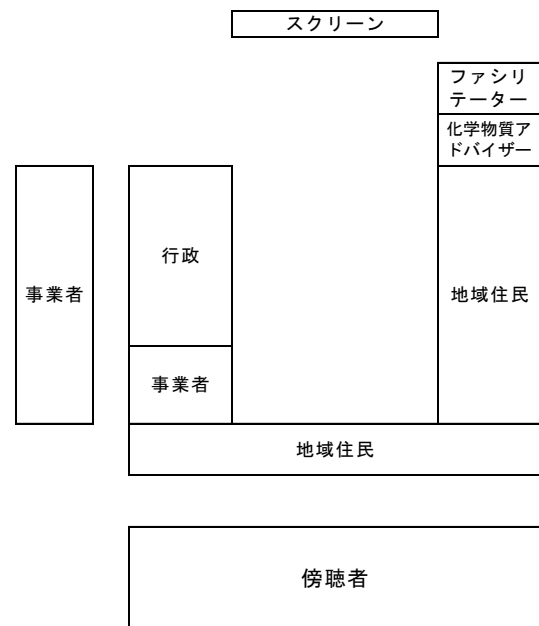
事業者による自主的な化学物質の排出削減や適正管理も重要ですが、より合理的に環境リスクを管理し削減するためには、事業者、地域住民、行政が化学物質等に関する情報を共有し、意見交換を通じて意思疎通と相互理解を図る「リスクコミュニケーション」の取り組みが有効です。

昨年度から、事業者主導型リスクコミュニケーションとして、事業者の意向をより反映した事業へとシフトしており、今年度はNEC トーキン株式会社で開催しました。

2 開催概要

- (1) 事業者 NEC トーキン株式会社白石事業所
所在地：白石市旭町7丁目1-1
- (2) 日時 平成27年3月5日（木）
午後2時から午後4時まで

- 3 出席者 合計 40名
- (1) 参加者 計 28名
- 地域住民代表者 10名
 - 工場 10名
 - 白石市 1名
 - 宮城県 5名
 - 化学物質アドバイザー 1名
 - ファシリテーター 1名
- (2) 傍聴者（県内事業者） 12名



<会場設置図>

4 プログラム

【総合司会：NEC トーキン株式会社、司会：ファシリテーター】

- | | |
|----------------------|----------------|
| (1) 開会挨拶 | (NEC トーキン株式会社) |
| (2) リスクコミュニケーション事業説明 | (宮城県) |
| (3) 化学物質セミナー | (化学物質アドバイザー) |
| (4) 企業紹介 | (NEC トーキン株式会社) |
| (5) 環境への取り組み | (NEC トーキン株式会社) |
| (6) 工場見学 | (NEC トーキン株式会社) |
| (7) 意見交換会 | (進行：ファシリテーター) |
| (8) 閉会挨拶 | (NEC トーキン株式会社) |

5 意見交換会の概要

住民代表者からの質問や意見に対する回答は、次のとおりでした。

(1) 以前は臭いがするときがありました。何の臭いが考えられるのですか？

【事業者】

NEC トーキン(株)白石事業所では、法律上、化学物質排出・移動量を把握、届出している物質として4種類を取り扱っています。その中で最も多くトルエンを排出しており、臭いの元である可能性が高いと考えられます。しかし、約20年前と比較して、再生利用を行うなど対策を行った結果、使用量は1/4程度まで削減しています。

【化学物質アドバイザー】

→トルエンとは無色透明な液体で、ものすごく大量に摂取すると神経系に悪い影響を及ぼします。シンナーの主成分がトルエンであり、大気中に揮発しやすいためどうしても臭いがしてしまうという場合があります。低い濃度であれば問題ないと考えられます。

【ファシリテーター】

→テレホンカードを製造していたときは大量に使っていたが、今は排出量の削減に努めており、使用量自体も減ってきているようです。事前の意識調査では、以前は臭ったという趣旨の意見でした。もし、今も臭いがしているとしたら、トルエンではないかと考えられますが、化学物質アドバイザーからも説明があったように、多量に吸い込まなければ大きな影響はないと言われています。

(2) 化学物質の管理の基本方針として、漏洩させないとなっており、万が一漏れた場合を想定していますが、漏れる可能性があるということでしょうか。また、土のう等の対策を講じることになっていますが汚染の範囲をどれくらい想定していますか。

【事業者】

可能性としては考えられます。漏れる範囲としては敷地内を想定していますが、雨水系の排水口に入ってしまった場合、さらに広がる可能性があります。ただし、24時間で定期的に監視する職員がいますので、敷地外に出さないというところを徹底しています。

(3) 煙突からの黒煙が見えるときがありますが、どういったものなのですか？

【事業者】

ボイラーの排気ガスがそう見えるのではないかと考えられます。複数台のボイラーを設置しており、それぞれの切り替えのタイミングで黒煙が出やすい状況です。黒煙の主成分は炭素、ススであるため大きな影響はないのではないかと考えています。

【化学物質アドバイザー】

→ものを燃やすと鉛筆の芯の部分に含まれているような黒鉛、炭素がススの成分の一つとして生じます。大量に吸い込むと体に良いわけではありませんが、一般になにかを燃焼させると少なからず発生するものです。

【自治会長】

→ボイラーは暖房用なのですか？

【事業者】

→暖房用と、火災対策の一環として湿度調整用に用いています。

(4) 排気・排水対策はどうしていますか？

【事業者】

生産工程から出るガスは、排ガス中の有害物質を水に吸着させ、無害なものを大気に放出しています。また、生産工程からの廃水は、排水処理施設で処理した上で全量下水に流しています。近隣の排水路には排出していません。雨水に関しては敷地外側溝に流しています。

(5) 安全・消防面の従業員教育、震災前後での安全対策の変化はありますか？

【事業者】

安全・消防面の強化のため定期的に安全教育を実施しています。その中には化学物質の危険性、有害性についての教育も含まれています。

毎年、防災訓練も行っており、避難、タンカー搬送、消火、通報訓練を実施しています。震災前からは自衛消防隊を組織しており、けが人の確認、安否確認を行っています。また、震災を教訓として、見直しを図った消防訓練、防災訓練を行っています。

なお、火災が発生しないよう、帯電防止のための漏電チェッカー、帯電防止服の着用、湿度を高く保ち静電気発生防止や機械系のアースをしっかりとるといった対策も実施しています。

(6) 植樹活動は今後も行いますか？（注：事業者は隣地で5年間、植林活動を実施している。）

【事業者】

借用した 2.5ha の植林は全て完了しましたが、今後も活動は継続します。活動の内容として今まで5年の間に植樹した苗木の下草刈り、枯れたものの植え直しを行う予定です。

6 実施の様子



＜会場＞



＜化学物質アドバイザーによる解説＞



＜工場からの紹介＞



＜意見交換会＞



＜意見交換会＞



集合写真

7 事業者主導型リスクコミュニケーション事業を実施した感想【NEC トーキン株式会社】

12月に交流会（リスクコミュニケーション）の開催が決まってから、実際の準備を開始したのが、1月に入ってからとなり、実質2ヶ月間での準備対応となりました。

当社は、これまで地域住民の方々とは、ほとんど接点が無い状況でしたので、宮城県や白石市からの適切なアドバイスを受けながら準備を進めました。

まず、どなたをお呼びするかということで、当社を中心に半径1～2kmの行政区の自治会長様をお呼びすることとしました。

その行政区自治会長様のお宅を訪問させて頂き、当社に対する意識調査書の配布をお願いするとともに、当日の出席もお願い致しました。

意識調査書の配布先については、自治会長様に一任したことが功を奏し回収率85%の好成績となり、当社への関心の高さを改めて認識することとなりました。

交流会当日は、多くの出席者を短時間でお迎えする形となり、迎える側が不慣れであったために、入門手続きにおいて大変ご迷惑をお掛けしてしまいました。

交流会受付の場面においては、出席の方々も大変緊張されていた様子で、皆さん硬い表情での入場であったと感じました。

実際の交流会では、ファシリテーター及び化学物質アドバイザーの適切な対応等により、時間が進むにつれて、住民代表者の自治会長様の緊張が解れ、自然体での意見交換が出来たのではないかと考えております。

尚、事後のアンケートにおいて、以下のコメントを頂戴し、改めて開催して良かったと実感した次第です。

（コメント一部抜粋）

◎地域との交流会は、貴社のイメージアップに寄与するものであり、

また、社会貢献の一助にもなり、信頼関係も強まると思慮します。

多忙な中、親切な対応に感謝いたします。

◎化学物質に対する取り組みの理解が深まりました。

◎定期的に開催して欲しい（自治会長の交代等があるため）。

8 NEC トーキン株式会社の環境活動

下記のURLから事業者のCSR報告書が御覧になれます。

https://www.nec-tokin.com/info/environment/envi_report.html

9 協力

事業の開催に当たっては、化学物質アドバイザー派遣事業事務局の御協力をいただき、化学物質アドバイザー及びファシリテーターの派遣を受けて開催されました。